【著作紹介】ポストメディア人類学に向けて　―集合的知性

著者：清水　高志（総合情報学部総合情報学科　教授）【共訳書】
出版社：水声社
出版年：2015 年 4 月発行
価格：4,000 円＋税
ISBN：9784801000902

所蔵状況を確認する
http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102065284

内容：
実現されるべき未来――
人類学的スケールの視野をもって，21 世紀におけるポストメディア時代の到来を予感させる，マーシャル・マクルーハンの「メディア論」以降，最高の情報哲学の書。

水声者の紹介ページ
http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102065284

教員メッセージ

情報哲学者ピエール・レヴィの代表作の邦訳。人類文明を大きく変えた変化を「四つの空間」という観点から読み解きます。原題は『集合的知性』。情報論の名著で古典です。

目次

プロローグ――ノマドの惑星
イントロダクション

第一部　社会的な絆の工学
第一章　義（ただ）しき者たち――集合的知性の倫理学
第二章　人間の質――集合的知性の経済
第三章　モル的なものから分子的なものへ――集合的知性のテクノロジー
第四章　知的都市の活動力――分子的政治のためのマニフェスト
第五章　天使的な身体の舞踊術――集合的知性の無神学
第六章　サイバースペースにおける芸術とアーキテクチャ――集合的知性の美学

第二部　《智慧の空間》
第七章　四つの空間
第八章　人類学的空間とは何か？
第九章　アイデンティティ
第十章　記号論
第十一章　空間と時間の形象
第十二章　航海の道具
第十三章　知識の対象
第十四章　認識論
第十五章　諸空間の関係――政治哲学に向けて
エピローグ――クノッソスへの旅
解題（清水高志）
訳者あとがき

［著者］　清水　高志（シミズ　タカシ）

東洋大学総合情報学部総合情報学科教授（専攻、哲学）。
主な著書に、『ミシェル・セール――普遍学からアクター・ネットワークまで』（白水社、2013）、主な訳書に、ピエール・レヴィ『ポストメディア人類学に向けて』（共訳、水声社、2015）、ミシェル・セール『作家、学者、哲学者は世界を旅する』（水声社、2016）などがある。

関連リンク

東洋大学研究者情報データベース（清水高志　教授）
http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.98c14e15691e1412c104f91db5773376.html

メイヤスーと思弁的実在論（東洋大学学術情報リポジトリ）
http://id.nii.ac.jp/1060/00008855/

純粋経験論が目指したもの―西田幾多郎とジェイムズ、円了（東洋大学学術情報リポジトリ）
http://id.nii.ac.jp/1060/00007968/